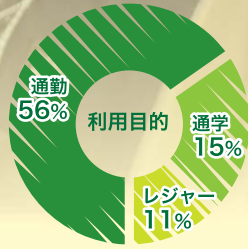
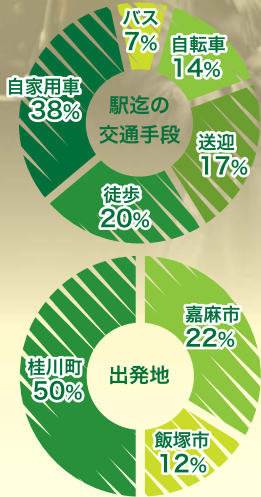


# みんなに愛さ

## より便利に生まれ変わる桂川駅

桂川駅は、町の中心部から北西に約2キロ離れたところに位置し、飯塚市(旧筑穂町)との境界線部に近接しています。また、嘉麻市の旧碓井、嘉穂、山田地域に住む人々にとっては、福岡都市圏へ向かう場合の最寄駅にもなっています。また特急「かいおう」の停車駅でもあり、近年では筑豊地域の拠点駅としての役割も担っています。そのため、筑豊地区にある駅の中でも乗降者数の多さでは上位に位置しています。桂川駅を利用する多くの人に共通する特徴として

「自宅から駅まではマイカー」「マイカーでの送迎」という状況があり、朝晩の通勤・通学時間帯には駅周辺は大変混雑します。町でも桂川駅は都心部に対する桂川の玄関口と位置づけ、住み良いまちづくりを目指すうえで重要な施設です。平成24年度「桂川駅周辺整備計画」に基づき駅周辺開発で混雑の解消に努めます。桂川駅はこれからも、より便利にみなさんに愛される駅を目指して桂川町とともに生まれ変わって行きます。



◆ JR桂川駅利用状況  
(一日平均乗降車数) 単位:人

年度	人数
平成17年度	4,191
平成18年度	4,190
平成19年度	4,104
平成20年度	4,073
平成21年度	3,848



今日もみんながキレイな花で空らいてもらえたら  
いいね

一日の疲れとともに列車に乗り込み、桂川駅で下車。改札機でふと視線を駅出口に向けてと彩り鮮やかな活け花が…。「おかえりなさい！」そんな声が聞こえたような気がして、肩の力が抜けて行くのが分かった。

駅長 宗近 誠さん

桂川駅に彩り添えて  
四半世紀

桂川駅舎に入っすぐのところ、花と桂川駅を愛する住民の方々による活け花が展示してあるのを、ご存知ですか。この活動のきっかけは40数年前、華道教室で指導をされていた今井ユキエさんが旧筑穂町から桂川駅近くに移り住み、活け花で地域の役に立てればと旧筑穂町の生徒さんたちと一緒に桂川駅に飾ったのが始まり。25年前からは、駅のある豆田地区などの生徒さんたちが、1週間交代で展示し続けています。今井さん曰く「駅に自分立っていると思つて活けなさい」。今日も今井社中の皆さんは「花が弱っていないか? 形が崩れていないか?」と水道具片手に駅に向かわれています。